



人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を目指して、岐阜市の獣医行動診療科認定医、奥田順之氏が2012年に立ち上げた。智頭町でペット関連事業を行う松本温子さん(41)が今年1月、鳥取支部を開設。主に生活困窮者のペット飼育問題の解決に取り組んでいる。

松本さんは昨年、共生センターが運営するオンラインの「人と動物の共生大学」を受講後、岐阜のセンター本部で半年間学び、全国初の支部となる鳥取支部を立ち上げ。松本さんが支部長に就任した。共生大学の運営、事務局を

生活困窮者ペット問題支援

■ 79 □

認定NPO法人
人と動物の共生センター鳥取支部(智頭町)



人と動物の共生センターのスタッフ

担当するほか、力を入れていっているのが生活困窮者のペット飼育問題。避妊去勢手術費用がなくてペットが増え続け、掃除もできない多頭飼育崩壊が社会問題となり、鳥取支部では地域包括センターや社会福祉協議会などと連携して、正

課題は生活困窮者のペット問題が社会に認知されていないことと資金の捻出。鳥取県と共に「不幸な動物をゼロに」と、ふるさと納税により団体を応援できる寄付制度「ギフ鳥」を活用して、目標600万円のクラウドファンディングを12月末まで展開している。

9月末には「人と動物の共生サミット」をオンラインと会場で開催。「資金面とともに、共生大学などを通して一緒に活動する人が増えてほしい」と松本さんは呼びかける。多頭飼育崩壊で保護された1歳の猫と同居している。